

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
C202	情報処理応用	2年	講義	2	本年度不開講
授業概要 社会や組織の中でコンピュータを使い、情報を収集・処理・伝達・活用するためには、収集したデータの整理・分析の技術を身につけることが必要となる。本講義では、社会や組織における具体的な事例を題材に、表計算ソフトのワークシート関数や他の応用的機能を活用し、帳票の作成支援の方法、大規模データの読み取り方（分析・可視化の手法）について学ぶ。この科目はシテライフ学部教育目標(カリキュラムポリシー)のうち、「② 専門的な知識を修得する前提として基本的な知識を修得するとともに、情報収集・情報処理能力を身につけさせる。」の修得を目的とする。					
到達目標(学習の成果) ① 表計算ソフトのワークシート関数を利用した帳票のデザインが出来るようになる。(DP2) ② 表計算ソフトのワークシート関数を利用した文字列操作が出来るようになる。(DP2) ③ 表計算ソフトを用いたデータの集計方法を理解する。(DP2) ④ 表計算ソフトによるビジネスデータの分析手法、可視化手法を身につける。(DP2)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	表計算ソフトの基礎	ワークシート関数の基本について学ぶとともに、情報リテラシⅡまでの既習範囲について確認する			
2	帳票の作成 ①	請求書等の帳票の作成を例に、関数を用いたデータの参照、連番の自動入力、エラーの非表示の処理について学習する。			
3	帳票の作成 ②	請求書等の帳票の作成を例に、関数を用いた文字列の連結、変換、表示内容の切り替えの処理について学習する。			
4	データの集計 ①	売上データを例にして、外部データの取り込み、関数を用いた文字列操作、条件付合計の処理について学習する。			
5	データの集計 ②	売上データを例にして、関数を用いた順位の表示、クロス集計（複数条件による合計）について学習する。			
6	データの可視化 ①	データ可視化手法のうち、Z チャートの役割と表計算ソフトでにおける実現、グラフの読み取り方について学ぶ			
7	データの可視化②	データ可視化手法のうち、交差比率、ABC 分析の役割と表計算ソフトでにおける実現、グラフの読み取り方について学ぶ			
8	データの分析①	データ分析手法のうち、近似曲線、相関係数の役割と表計算ソフトでにおける実現、グラフの読み取り方について学ぶ			
9	データの分析②	社員名簿の分析を例に、関数を用いた時間・日数の取り扱い方および計算方法について学ぶ。			
10	データの分析③	社員名簿の分析を例に、関数を用いたデータの集計方法（複数条件による個数のカウント等）を学ぶ。			
11	ワークシートの活用 ①	顧客住所録の作成を例に、表記の統一、変換、置き換えなどの文字列操作関数について学ぶ。			
12	ワークシートの活用 ②	顧客住所録の作成を例に、文字列の分割、重複データの削除、ブックへの読み取り、書き込みパスワードの設定について学ぶ。			
13	ワークシート活用実践演習	これまでの学習事項を踏まえて、「貸金計算書」の作成を例に表計算ソフトによるデータ集計・ワークシート活用の実践的な練習を行う			
14	データ集計実践演習①	これまでの学習事項を踏まえて、「会員名簿」の作成を例に表計算ソフトによるデータ集計・ワークシート活用の実践的な練習を行う			
15	データ分析実践演習②	これまでの学習事項を踏まえて、表計算ソフトによるデータ分析処理の実践的な練習を行う			

準備学修(授業外の自己学修)

- ・1年次配当の情報処理科目を修得しているか、同等の知識を有することを前提に講義を進めます。修得済みの情報処理科目について講義時間外に復習してください。
- ・講義で課された課題が時間内に終わらなかった場合は、必ず次の時間までにやっておいてください。
- ・学修内容を確実に身につけるために、参考書などを活用して操作方法を繰り返し確認してください。

成績評価の方法・基準(%表記)

各回の提出課題(20%), 実践演習(30%), 期末筆記試験(50%)

観点	S	A	B	C
① 表計算ソフトのワークシート関数を利用した帳票のデザインを修得しているか。	90%以上修得している	80~90%修得している	70~80%修得している	60~70%修得している。
② 表計算ソフトのワークシート関数を利用した文字列操作を修得しているか。	90%以上修得している	80~90%修得している	70~80%修得している	60~70%修得している。
③ 表計算ソフトを用いたデータの集計方法を理解しているか。	90%以上理解している	80~90%理解している	70~80%理解している	60~70%理解している。
④ 表計算ソフトによるビジネスデータの分析手法、可視化手法を修得しているか。	90%以上修得している	80~90%修得している	70~80%修得している	60~70%修得している。

教科書

- 富士通エフ・オー・エム『Excel 2016 / 2013 ビジネス活用編 関数テクニック』FOM 出版(ISBN: 978-4865103007)

参考書等

- 日花弘子『仕事に役立つ Excel ビジネスデータ分析 第4版』ソフトバンククリエイティブ(ISBN: 978-4797374094)
- 富士通エフ・オー・エム『仕事に使える Excel 関数ブック』FOM 出版(ISBN: 978-4865103069)

履修上の注意・学修支援

- ①「情報リテラシⅡ」で学習する表計算ソフトの操作方法について十分な知識を持っていることが受講の前提となります。
- ②遅刻をすると、その回の実習に参加できない場合がありますので、十分注意してください。
- ③教科書に付属した教材を使用して講義を進めますので、必ず教科書を購入してください。
- ④講義は windows10 & office2016 で実施します。